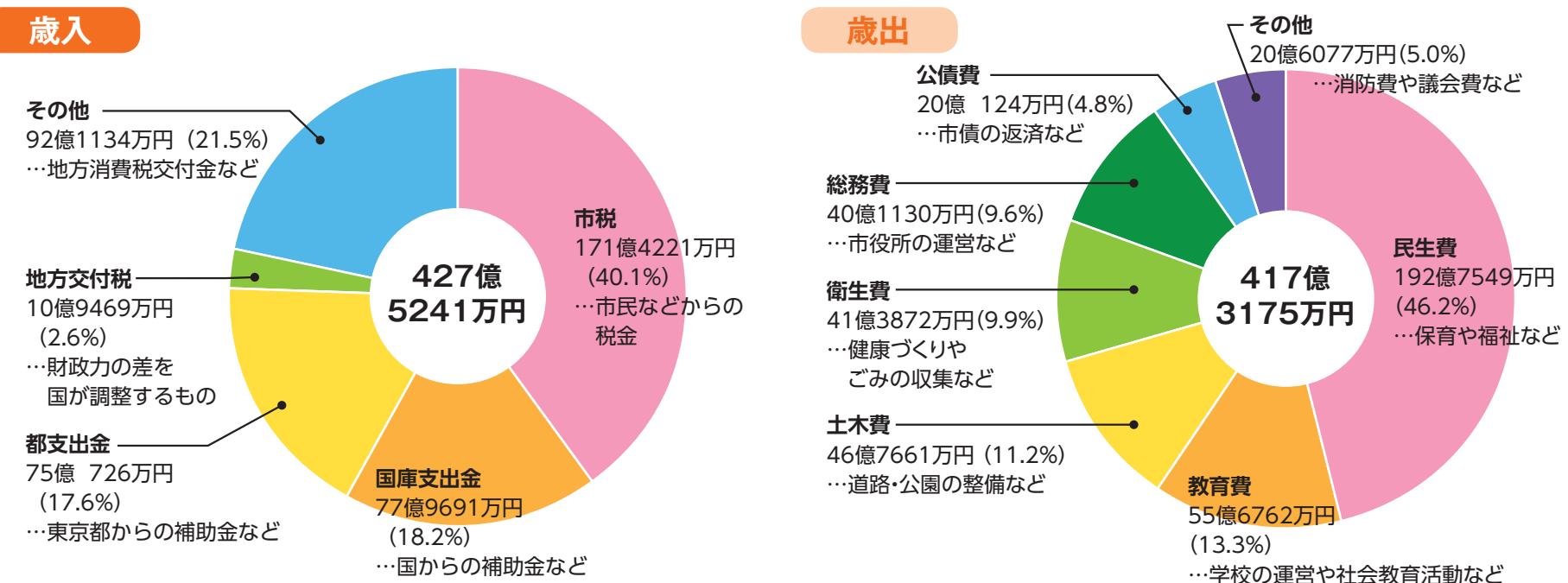


令和6年度決算を認定

令和6年度各会計決算は、9月26日の本会議で以下のとおり認定されました。

令和6年度一般会計決算の内訳



令和6年度各会計決算額表

会計名	歳入	歳出
一般会計	427億5241万円	417億3175万円
国民健康保険事業特別会計	77億2557万円	77億2557万円
土地区画整理事業特別会計	35億7995万円	35億7485万円
介護保険特別会計	60億6402万円	58億7173万円
後期高齢者医療特別会計	23億2494万円	23億2494万円
下水道事業会計	25億 902万円	26億7053万円
病院事業会計	76億6859万円	92億8171万円

令和6年度決算書「歳入歳出決算の合計表及び純計表」より)

議会の豆知識

「決算特別委員会ってなに？」

決算特別委員会は、前年度の市の決算について予定どおり正しく使われたかを審査するため設置される特別委員会です。

令和6年度決算は、決算特別委員会(渡辺力委員長、土居のりひろ副委員長)を設置し、3日間に渡り詳しく審査しました。

決算特別委員会で

決算特別委員会で しつかりチェック(審査)

問 ウェブサイト改修等委託の内容は。

答 旧サイトへの情報データを新サイトへ移行し、市が設定する機能要件に基づき、サイトの構築を行った。

問 自治体DXの具体的な取組内容は。

答 行政手続きのオンライン化、窓口改革の推進、自治体情報システムの標準化・共通化、DX人材育成などに取り組んだ。

問 自治会防犯カメラ運用経費補助金の効果は。

答 毎年かかる経費の補助を行うことにより、防犯カメラが設置しやすくなる。

問 岩手県大船渡市林野火災の現地において、どのような活動したのか。

答 消火活動および巡回警戒、消火活動部隊の燃料補給などを実施した。

問 重層的支援体制整備事業の成果は。

答 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を推進することができた。

問 パー事業等促進・育成補助金の内容は。

答 サービスの提供に必要な資格をスタッフに取得させる経費を事業所に交付した。

問 城山文化センター児童館を開館時間の延長や運営事業者の柔軟で発想が豊かな考え方を取り組みを基に、多くを実施できた。

問 育児支援ヘルパー派遣の実績時間が1・5倍に増加した理由は。

答 新たな事業者の参入や、申請および自己負担額の支払いのオンライン化により一層利用しやすくなったため。

問 戸籍の広域交付について、特徴的な利用は。

答 相続に関し、被相続人が出生から死亡まで全ての戸籍証明書を遡って取得するケースにおいて、1つの自治体で全て取得できる。

問 相馬野馬追観覧バスツアーアを実施した効果は。

答 歴史散策などを通じ、相馬市の理解を深められたほか、被災に遭われた方から、東日本大震災当時の被災状況などを聞き、震災について改めて考える貴重な時間になった。

問 男女共同参画実態調査について、10年前の調査と比較してどのような変化が見られたか。

答 職場が男性優遇であるという意識が後退し、家庭生活・余暇生活が男女平等であるという意識の高まりが見られた。

問 公共施設予約システムの更新の効果は。

答 窓口での料金の支払いや無人施設において、鍵を市役所や総合体育館で借り、使用後に返却する行き来が不要になり、サービスが向上した。

問 バスの運行経費の増額要因は。

答 運転手不足に伴う処遇改善による人件費の増額である。

問 プラスチックごみを資源として回収するため、市として具体的にどのような取り組みを行ったのか。

答 「ごみリサイクルカレンダ」、市ウェブサイト、「ごみ分別アプリによる周知・啓発、各自治会や管理組合への「ごみ減量説明会などを行った。

問 校内別室指導支援員の支援内容、各校の取り組みの特色は。

答 ソーシャルスキルトレーニングや生徒が興味・関心を持った体験活動、オンライン授業の支援など。

問 稲城市立病院の経営強化プランに基づき、特に注力した取り組みは。

答 地域医療支援病院の指定を受けるため、申請の準備を進めた。

問 国民健康保険の財政状況をどのように考えているのか。

答 非常に厳しい部分があるが、財政健全化計画に基づき、定期的に国民健康保険税率の改定や国に財政負担を求めるなどの取り組みを続けている。

問 介護支援ボランティア事業委託において、不用額が生じた要因は。

答 インフルエンザやその他の感染症への警戒感からか、高齢者であるボランティアの活動控えなどがある。

問 南山東部土地区画整理事業の進捗状況は。

答 事業費ベースで9・8%となっている。

問 下水道施設の点検調査の内容は。